

知的障害児者
家族目線の

ぼうさい 防災あんしん ブック

(わがまち・くらし編)

一緒に避難所に
いけるかな・・・
パニックになったら
「うるさい」って
言われそう・・・



避難所に
行けば
自宅避難者も
救援物資は
もらえるの
かしら？



みんなで学んで自助力アップ！



神奈川県手をつなぐ育成会



〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川県社会福祉センター内

裏表紙に索引があります

「防災」を考えるきっかけになりますように！

毎年のように様々な災害が日本各地で起きていますが、令和6年元日の能登半島地震をきっかけに、県内どこで被災しても各自治体の情報を得られ、災害時の本人のシナリオを書き込めるように、平成29年作成の携帯版「わたしのノート」を超える冊子を作りたいと、新たに作成チームを立ち上げました。『防災あんしんブック(わがまち・くらし編)』と『防災あんしんブック(じぶんのこと編)』を作成する2年計画で、今年度は地域の取り組み(わがまち・くらし編)です。

まず、ハイブリッド式学習会を開催し、輪島市手をつなぐ育成会の方から被災時のお話やその後のご苦労を伺いました。「育成会の仲間と連絡をとりあい励まし合うことが支えになった」というお話や体験談を聞き、改めて**自助力を高めることと繋がることの大切さ**を感じました。また、東日本大震災や能登半島地震の際、支援のため被災地で尽力された(一社)神奈川県知的障害施設団体連合会の森下浩明氏((福)みなと舎理事長)のお話からは、**どのような状況でも知的障害児者の人権を守ることの大切さを忘れてはいけないことを学びました。**

行政への聞き取りでは、川崎市育成会手をつなぐ親の会の協力も得て、県内33の市町村全てで実施でき、支部それぞれが伝えたい情報を編集しました。また、神奈川県歯科医師会にご協力いただき、「災害時の口腔ケア」を掲載しました。

皆様への感謝と自助力アップの願いも込めて、お届けします！

『防災あんしんブック(わがまち・くらし編)』

防災あんしんブック作成委員会



神奈川県からの情報です！



LINE公式アカウント「かながわ防災パーソナルサポート」台風の接近の際などは、プッシュ発信されます。

避難ページ



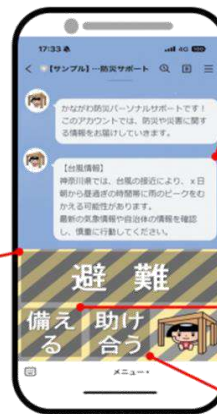
(2)災害に役立つ情報や気になる情報を自ら検索！

(1)災害に関する情報をお届け！

備えるページ



助け合うページ



神奈川県総合防災センター



VRでリアルな災害体験ができます！



「神奈川県総合防災センター」

🏠 神奈川県厚木市下津古久280

☎046-227-1700 🟡 入館無料

【開館時間】9:00～17:00

📅 月曜・祝日翌日・年末年始休館

【駐車場】一般車両60台 大型バス12台

福祉車両3台

10名以上は予約が必要です。

横浜市



防災情報入手方法	
災害情報	防災情報Eメール
「横浜市災害情報ポータル」で検索	

人口:3,771,063人(令和6年10月1日時点)
 知的障害者:37,752人(令和6年3月末時点)

「横浜市民防災センター」
 (横浜市神奈川区沢渡4-7)
 地震・火災と風水害の体験
 ツアーや、ワークショップなど
 の体験プログラムがあります。



横浜市は18の区で構成され、年間に3,600万人の観光客が訪れます。住民でなくても、滞在中に災害に遭う事を想定して、知っておきたい地域です。



18の区ごとに、浸水ハザードマップや、区民生活マップ(災害に備えるページあり)が作られています。また、横浜市のホームページには各種防災情報や、液状化・土砂災害など各種ハザードマップへのリンクがあります。区のホームページでも防災情報の確認を!

障害者の為の防災の取り組み

- 横浜市ホームページの「災害時要援護者支援ガイド」のページから障害者向けのマイ・タイムライン(わかりやすい版)がダウンロードできます。
- 障害者に向けた防災ガイドブックはありませんが、「障害福祉のあんない2024」冊子のP78～P81に防災に関する記載がまとめられています。
- 地域防災拠点に配備している備蓄品の一覧は横浜市ウェブサイト「地域防災拠点備蓄品一覧」で公開しています。(一部の備蓄品については画像あり) 避難所では既存トイレの他に、トイレパック5,000個、くみ取り式仮設トイレ2基、簡易式トイレ便座6基のほか、下水直結式仮設トイレ5基が配備されています。下水直結式仮設トイレのうち1基はバリアフリートイレです。
- 地域防災拠点(地震時に避難所となる小中学校)では、避難所の運営にあたって障害者などにも配慮した運営を行うこととしています。
- 福祉避難所は、区役所と社会福祉施設(高齢者施設・障害者施設・地域ケアプラザなど)が協定を締結しています。
- 風水害を想定して個別避難計画の作成を進めています。



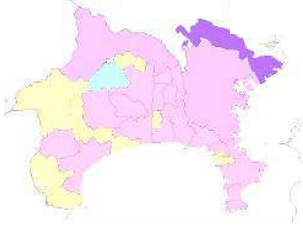
「セイフティーネットプロジェクト横浜」では、地域防災拠点などに障害啓発の出前講座を開催。サイトからは、コミュニケーションボードをダウンロードすることが可能で、オリジナルのコミュニケーションボードの作成も可能です。



障害福祉あんないのアプリ版があります。現在は暮らしに関する内容が主なのですが、今後、障害福祉に係わる「防災情報」や「医療関係」のお知らせ(プッシュ通知機能)なども発信されることが期待できます。アプリの取得は、「横浜市障害福祉のあんないアプリ」で検索するか、QRコードからダウンロードが可能です。



川崎市



かわさき防災アプリ



人口:1,551,788人
(令和6年10月1日時点)
知的障害:12,406人
(令和5年)



「かわさき防災アプリ」は地図上に洪水、土砂災害、津波、内水などの危険区域を示したハザードマップを確認できる他、各種災害情報をリアルタイムに受信でき、発令中の避難情報や避難所情報(開設・混雑)を地図で確認できます。「備える。かわさき」は災害に対する日頃の備えなど、災害が起きる前に市民の皆さんに読んでいただきたい情報誌です。「川崎市防災ポータルサイト」内でWeb版を公開しています。

ハザードマップもご確認ください。



スマートフォン版
ガイドマップかわさき

障害者のための防災の取り組み

- 災害時要援護者避難支援制度があります。これは、災害時に自力で避難することが困難で、在宅で生活している高齢者や障害のある方など災害時要援護者の方々のうち、地域への情報提供に同意される方々から、名簿登録の申込みをしていただき、地域の支援組織に名簿を提供し、地域において共助による避難支援体制づくりを進める制度です。
- 災害発生時の情報発信については、障害の有無を問わず、防災行政無線や緊急速報メールをはじめ、防災ポータルサイトや防災アプリ、メールニュースなど、各伝達手段の特徴や役割を踏まえ、効率的な発信に努めています。
- ふれあい(障害福祉サービスの案内)の中に緊急時・災害時対策を記載しています。
- 個別避難計画の作成を進めており、災害時に自ら避難することが難しい高齢者や障害者の方、お一人ずつに作成する、避難の支援、安否確認、その他災害から身を守るために、必要な避難行動などについて記載した計画となります。避難支援として安否確認などを行う方や避難先、避難経路などを事前に決めておくことで、円滑な避難につながるができるものとなります。
- 指定避難所(市立小中学校等)には備蓄倉庫があり、備蓄食料としてアルファ化米と簡易食料(クッキー)は、特定原材料7品目及び特定原材料準ずる21品目を使用していません。
- 指定避難所では、施設のトイレを使用(下水が流れない場合は、携帯トイレを利用して)するほか、仮設トイレの設置をします。マンホールトイレの設置してある施設は、これも使用します。
- 睡眠(プライバシーへの対応・車中泊用駐車場等)については、段ボール業界の団体との協定により、指定避難所には発災後に段ボールの仕切りを供給してもらうこととなっています。
- 食料や物資等の必要数の計上やその他の支援のために、在宅避難をされている方には地域指定避難所に「被災世帯登録票」を提出していただくこととしています。
- マイタイムラインの作成や、地域の避難訓練に参加することを進めています。
- 川崎市では、福祉避難所に位置付けている二次避難所として、災害時の協定を締結した市内社会福祉施設等において、高齢者や障害者等を対象に支援を実施することとしています。二次避難所への避難を必要とする要援護者は、高齢者、障害者など避難所生活において何らかの特別な配慮を必要とする方で、介護保険施設や医療機関等に入所・入院するに至らない程度の要援護者を対象としています。

横須賀市



防災情報入手方法

防災情報メール



ひらがなでの登録も可

防災行政無線

聞き逃した時は防災情報テレホンガイド(電話:046-822-3900)で確認することができます。

人口:371,241人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:3,596人(令和5年3月末時点)



YOKOSUKA

★災害リスクマップ

横須賀市は半島地形のため、海、山、川があり地域によっては孤立してしまう場所や、土砂災害・洪水・津波など複数の災害にあうおそれがある場所もあります。

災害リスクマップは、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などを全て記載したマップで市内を8地区に分けて作成しています。また、避難所などを地図上に表示し、家庭での備蓄や防災に関する基本的な行動などの情報も掲載しています。(市のホームページよりダウンロードできます。)



★原子力防災について

横須賀市内には、燃料加工工場と米海軍の原子力艦船という2つの原子力施設があります。

横須賀市は万が一の事態に備え、国や県などと協力して24時間モニタリングを行ったり、安定ヨウ素剤など原子力防災資機材の整備をしています。また、防災訓練を実施したり、啓発物を作成し啓発なども行っています。

★横須賀市総合防災訓練

大規模な災害に迅速かつ効果的に対処するため、自衛隊・海上保安庁・神奈川県警察・緊急消防援助隊・横須賀市消防局が連携した総合防災訓練を実施し、災害発生時の連携力と対応力の強化を図っています。



訓練の様子

横須賀市の障害のある人も安心な防災対策

- ★災害時の障害のある方への配慮とサポートについて(障害のある方を理解するためのガイドブック)を配布しています。
- ★災害時要援護者支援マニュアル
- ★アレルギー対応のアルファ米を、避難所である小中学校に備蓄しています。
- ★トイレは、既存の洋式トイレに袋をかぶせて使用する携帯トイレの他に、簡易式組み立てトイレとマンホールトイレの3種類を備蓄しています。簡易式組み立てトイレとマンホールトイレにも洋式便座があるので、身体の不自由な方にも安心です。
- ★プライバシーへの保護への対応は、避難所チェックシートをもとに、備蓄している間仕切りパーテーションやテントを用いることが可能です。
- ★避難所等での薬については、ドラッグストアなど、民間事業者との防災協定があり、災害時には優先的に調達できる体制が整っています。
- ★在宅避難者への支援は「震災時避難所運営マニュアル」に記載されており、各地域で在宅避難者数を把握し、災害援助物資の指定配給場所を設け、さらに高齢や障害のある人には宅配体制を取る検討もしています。



鎌倉市



防災情報入手方法

防災・安全情報メール	かまくらわが街マップ

人口:170,206人(令和6年10月1日時点)
知的障害者:1,189人(令和6年4月1日時点)

これもおすすめ!
公式LINEに登録すると防災
情報を気軽に入手できます。

鎌倉の観光地としての取り組み

帰宅困難となった観光客は「一時滞在施設」の利用ができます。
(長谷寺、建長寺、円覚寺、鶴岡八幡宮、鎌倉生涯学習センター、
鎌倉芸術館、鎌倉宮、鎌倉武道館、安国論寺)

一時滞在施設
には備蓄品も
別に配備され
ています。



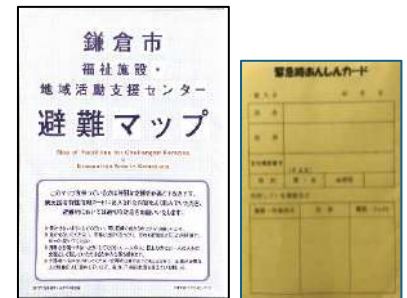
充実したハザードマップ

やさしいハザードマップ(6地域に分かれたハザードマップ)は子どもたちがわかり
やすい表現で書かれており、市内の小学校での防災学習にも活用されています。
その他津波・地震・洪水各種ハザードマップも充実しており、いずれも鎌倉市ホーム
ページよりダウンロード可能です。



鎌倉市の障害者にやさしい防災対策

❁ 障害者用マップとカードを活用しましょう。
災害用バックに入れておける『避難マップ』はおもてに障害別のニーズや
配慮の説明だけでなく、コミュニケーションボードや要支援者特性カード
があり、裏は市内の各種避難所を示したマップになっています。
普段から定期入れなどに入れて持ち歩ける『緊急時あんしんカード』は
避難マップの要支援者特性カードの内容だけをまとめたものになって
います。



避難マップと緊急時あんしんカード



多目的テント

❁ 避難所の広い体育館で過ごすのは無理とあきらめる前に、避難所でニーズを伝え
てみましょう。
ミニ防災拠点の市立小・中学校の教室を個別空間として使用できます。
(風水害時には各学校3教室、地震時にはすべての教室を開放)
避難所にはパーティションのほか授乳や着替えの際にプライベート空間を確保できる
屋根付きの個室(多目的)テントを計82張備蓄しています。

❁ 災害時にはトイレが重要です。
市内25か所の市立小中学校すべてに車椅子の人や介助
者も入れる組み立て式バリアフリートイレを備蓄していま
す。
在宅避難者もトイレだけ借りに避難所に行けます。
個室4室ある水洗トイレトレーラーは太陽光パネル付き
なので、停電時でも使えます。
また、災害時の断水時に備えて市内40か所の井戸の
所有者に水を提供してもらえることになっています。



組み立て式トイレ



トイレトレーラー
(能登の地震で活躍しました)

❁ 福祉避難所は市内に計6か所あります。ガスの発電機も配備されており停電時にも安心です。備蓄品な
ど実際に見る機会があるといいですね。

逗子市



防災情報入手方法

防災・防犯メール

公式LINEアカウント



人口:55,488人(令和6年10月1日時点)

知的障がい者:379人(令和6年3月末時点)

ハザードマップを活用しましょう



○避難所運営訓練

避難所に指定されている小学校ごとに内容が異なりますが、各小学校区において、毎年避難所運営準備(体験)訓練を実施しています。各小学校地区避難所運営委員会が実施して実際に避難所を体験できる良い機会です。ぜひご参加ください。



段ボールベット体験



マンホールトイレ設置体験

津波ハザードマップ及び土砂災害等ハザードマップには、指定緊急避難場所、指定避難所の位置についてまとめているので、日ごろからご家族や地域の方と話し合ってください、災害による被害の軽減にお役立てください。

○地元逗子マリーナの災害時協力

リビエラ逗子マリーナ等を所有運営する【株式会社リビエラリゾート】は、災害時の孤立地域対策として、隣の町へ人や物資を運ぶ「海上防災訓練～浜から浜へ～」や、海上保安部と協働した「海上物資輸送訓練～海上から浜へ～」を実施しています。

また、逗子市と災害時包括協定を締結し、海路を用いた人や物資の輸配送、EVを活用し充電確保を目的とした利用者受け入れで地域住民へ貢献しています。



○災害対策用指定井戸

逗子市では、大地震やその他の災害で水道施設が被害を受け、市民に対する給水が困難となった場合を考え、応急給水の水源を確保するために、災害対策用(生活用水)の井戸を指定しています。令和6年度現在63か所指定しており、ホームページで場所を確認できます。

逗子市の障がい者のための防災対策

- ▲ 一部の地域で、一般避難所に要支援者支援班を設けて対応する計画があり、一般の避難訓練に知的障がい者も参加。また、グループホームで参加するところもあります。
- ▲ 福祉避難所の設置運営訓練も今後予定されています。
- ▲ 一般避難所は小学校なので、ユニバーサルトイレがあります。使用できない場合はマンホールトイレが各避難所に5基あり、1基は車椅子のまま使用可能の広さがあります。
- ▲ 一般避難所開設時に救護所が開設されます。市内3か所では、医師も常駐する救護所ができる予定です。
- ▲ 学校グラウンドを車中避難に使用できる地域もあります。



マンホールトイレ

三浦市



防災情報入手方法

防災情報メール	避難所開設情報
	

人口:39,547人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:389人(令和6年3月末時点)

三浦市の特色として、神奈川県
の南端に位置し、三方が海に囲まれ
た半島という地形であることから、
道路の冠水や土砂災害などにより
交通網が機能しなくなった場合の
対策があります。

緊急交通路および緊急輸送路等の確保対策

三浦市は半島の南端に位置されているため、災害時における災害応急活動に必要な物資、資機材、要員等の広域的緊急輸送を円滑に行うためには、『幹線道路』、『物資受け入れ港』および『ヘリポート』の3つの確保が重要です。(三浦市地域防災計画より)

- 【幹線道路】「緊急輸送道路管理マニュアル」にて地震災害後の復旧、緊急輸送の確保に係わる手順を整理。
- 【物資受け入れ港】「みさき漁港」が物資の受け入れ港として指定されており、会場からの緊急輸送が可能になるよう備えています。
- 【ヘリポート】大規模地震等の発生時に利用可能なヘリコプターの緊急離着陸場として、各市立中学校運動場を指定、さらに三浦市立病院に緊急時臨時離着陸場を整備しています。

みうらわが街ガイド

三浦市における行政情報や地域情報・都市計画情報を提供するサイトです。その中に防災情報を検索できるマップもあり、住所を入力して近くの避難所を調べることができます。

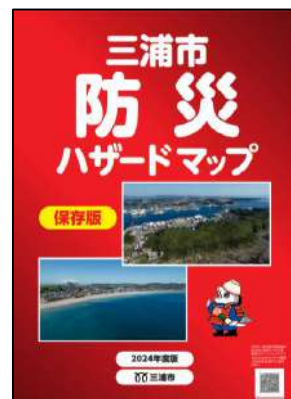


みうらわが街ガイド

ハザードマップを活用しましょう

三浦市では2024年度版『防災ハザードマップ』を各家庭に配布しています。ハザードマップには土砂災害ハザードマップの他、災害の種類や災害時の注意点など、減災に役立つ情報を掲載しています。「危険箇所」、「避難する場所」、「避難経路」など必要な情報を書き込み、「自分だけのハザードマップ」を作成しましょう。

『三浦市津波ハザードマップ』は、神奈川県の設定した津波浸水想定をもとに、発生すれば甚大な被害をもたらすおそれがある津波を想定し、浸水すると予測される区域を示したうえで、避難所や標高などの情報を加えたマップです。どちらもホームページよりダウンロード可能です。



三浦市の障害者も安心な防災の取り組み

- 個別避難計画は2024年度中にモデル地域を設定し作成を進めます。
- 一次避難所にアレルギー対応食、アルファ米の備蓄があります。
- 一次避難所に組み立て式で介助者も入れる車椅子対応のトイレがあります。防災危機対策室では便座に袋をかぶせて使う携帯トイレ124基備蓄しています。
- 薬については医師会や薬剤師会と災害時の協力協定を結んでいます。
- 市内にある8か所の福祉避難所のうち、2施設が障害者対応できる避難所です。
- 在宅避難者への支援は各区の役員等と協力しながら、情報提供や物資配布を行います。
- ホームページに出ている『非常持ち出し品チェックリスト』はイラスト付きのわかりやすいリストです。



葉山町



防災情報入手方法

防災情報メールサービス

葉山町防災ガイドブック



葉山町のHPで閲覧

人口:30,708人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:204人(令和5年3月末時点)

葉山は民生委員が防災グッズを要支援者宅に配布するなど、日頃から地域の結びつきが強く、また民間団体である防災ネットワークの代表を育成会の会長が務めており、要支援者の声が防災に反映されやすいです。小さい町ならではのアットホームなつながりがあります。

○はやま防災ネットワーク (まちづくり活動団体)

葉山町内で起こりそうな災害や、その災害に備えた対策について、日ごろから自分たちが気をつけておきたいこと、備えておきたいことを考えています。要配慮者のみなさんの安全対策は取り組む1つのテーマです。



はやま防災ネットワーク



一色海岸



○防災読本

2023年に全戸に配布しています。要支援者の支援に関するページがあり、日ごろからの信頼関係と支援体制を作ることの大切さが書かれています。

- ・支援内容
- ・体制を具体的に決めておく
- ・防災訓練の参加
- ・要支援者の把握と共有



外国人向けの防災ハンドブックもあります。やさしい日本語で書かれているので知的障害の方にも！

○津波避難誘導路面シート

津波災害時に、海拔20メートル地点まで迅速に避難が出来るように、路面シートを作成し、町内100箇所の町道に施工しました。このシートは、蓄光タイプですので夜間でも発光します。



津波発生時には矢印に従って高い場所に避難しましょう

葉山町の障害のある人のための防災の取り組み

- ⚓ 個別避難計画は防災安全課と福祉課が協力して作成し、独自フォーマットを町のHPからダウンロードできます。フォーマットは当事者団体の意見を聞き、より良いものになりたいと考えています。
- ⚓ 避難所は町内の6校の小中学校で、各校の特定の教室を福祉避難所に指定することになっています。
- ⚓ 避難所の小中学校に28項目のアレルギー対応食災害備蓄品が保管しており、みんなのトイレも設置済みです。バリアフリー対応仮設トイレの備蓄もあります。
- ⚓ 避難所に保健師が常駐し、市販薬を提供する予定です。処方薬は薬局薬剤師と連携を取り、手配できるようにすることを想定しています。
- ⚓ 福祉課を通していざという時必要なものを防災倉庫に預けることができます。賞味期限などがあるので、1年に1回交換してもらいます。
- ⚓ コミュニケーションボードは各避難所に設置予定です。
- ⚓ 在宅避難に関しては、要請があれば防災安全課が出向いて勉強会や説明会を随時行っています。

厚木市



防災情報入手方法	
厚木防災サイト	防災対策チェックリスト

人口:223,704人(令和6年10月1日時点)
知的障害者:2,297人(令和6年9月1日時点)

厚木市は神奈川県中央に位置し、6市2町1村に接しています。中心市街地から少し足を延ばせば、東には相模川、西には丹沢山麓が広がり、都会と自然が共存するまちです。



p27「要配慮者にやさしい地域にしましょう」



ぼうさいの丘公園は、面積が9.4haあり、厚木市の広域避難場所に指定されている「防災公園」です。災害時には、この公園に約2万人の避難が可能です。公園内には、飲料水を確保するための耐震性貯水槽や各種資機材を保管する備蓄倉庫、非常用トイレなど、災害時に対応できる施設や設備を設置しています。

B5サイズ33ページ

「厚木市防災ポケットブック」は、地震や風水害、火災などの災害に備えるための基本的な知恵や知識をまとめた防災冊子です。国の法改正や、県・市の地域防災計画の計画改定に基づいて令和6年度に改訂版を作成し、全戸配布されました。イラストや図が多く見やすくなっています。また点字版と読み上げ版も作成しています。



ココに注目 ↓↓↓

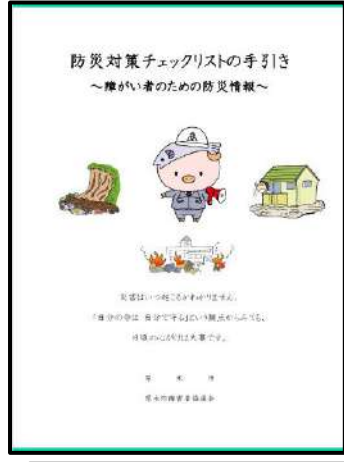
～配慮が必要な方への取り組み～

- ・日頃より防災に関する講話や起震車などの体験。
- ・災害発生時には防災無線やテレホンサービス、防災ラジオでお知らせする。
- ・市内の福祉施設と災害協定を結び避難所として利用可能。
- ・「避難者カード」の家族情報として要配慮者の中に「障がい者」のチェック欄がある。など

～避難行動要支援者 避難支援計画書について～

世帯の状況、避難時の配慮事項(チェック項目と記述で)、避難所等での留意事項、かかりつけの医療機関や介護事業所(日頃利用している福祉サービスなど)、地域での主な見守り協力者、緊急時の連絡先などの記入欄がある。同意が得られれば避難支援等関係者に名簿を提供している。名簿は年2回(4月、10月)更新。

厚木市障害者協議会の防災プロジェクトチームでは、障がい当事者のための「防災対策チェックリスト」及び「防災対策チェックリストの手引き」を作成しました。障害種別の記入例が載っています。 ※令和6年10月にリニューアルされました。



防災対策チェックリスト			
氏名	性別	年齢	住所
電話番号	緊急連絡先	障がい種別	備考
避難所	避難経路	避難物資	その他

障がい者のための防災情報が掲載されています

知的障がいの方向け記入例

秦野市



防災情報入手方法

秦野市総合防災情報	秦野市公式LINE	秦野市危機管理対策

人口:160,656人(令和6年10月1日時点)
知的障害者:1,893人(令和6年3月末時点)

市制施行70周年



「みどり豊かな暮らしよい都市(まち)」

《秦野市の心強い体制》

【福祉避難所】

広域避難所での避難生活が厳しい方の避難所として、障害福祉施設(10施設)及び秦野支援学校と協定を結んでいます。

【災害により帰宅困難となった場合(障害者)】

ぱれっと・はだのと受け入れ協定を結んでいます。

《秦野市の取り組みについて》

【個別避難計画】

避難行動要支援者の中で優先度の高い方より順次作成を行います。また、計画は各地区の民生委員に情報提供(共有)されます。

【避難所の生活】

	福祉避難所	一次避難所 (広域避難場所)
食料品	・アルファ化米(12食入) (アレルギー28品目対応) ※衛生面を考慮し4日分が1箱に入った品を配備 ・軟食(リゾット)	・アルファ化米 (アレルギー28品目対応)
トイレ	施設のトイレ利用 (一部施設では組み立て式トイレ)	洋式トイレ (車椅子用の組み立て式トイレ有)
薬の備蓄はありません。常備薬等をご家庭で備蓄をお願いします。		

【物資配布等について】

物資は広域避難所にて広域避難所避難者・在宅避難・車中泊等区別なく配布します。

受け取りは代表者が家族分を受け取ることが可能です。(『避難者カード』の記入が必要です)

◆◆◆秦野市公式YouTube『はだのモーピク』◆◆◆

防災資機材(マンホールトイレや避難所災害用トイレ、避難所用間仕切りなど)の取扱い方法について動画アップされています!!

他にも防災に役立つ情報が発信されていますので、是非検索してみてください♪

秦野市あんしんポイント《防災マップ》
地域ごとの防災マップを作成しており、災害時に役立つ情報等が掲載されています。



秦野市あんしんポイント《避難所対応》
各広域避難所に、障害者用の要配慮者室を設置し、コミュニケーションボードを備蓄しています。



一次避難所は段ボール間仕切りが備蓄され、家族の人数に応じて取り外しが出来る様になっています。

◆避難所のイメージ(屋内)



伊勢原市



防災情報入手方法

いせはらくらし安心メール



VACAN Maps



人口:101,284人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:1,070人(令和6年7月1日時点)

災害時に、各避難所の開設情報や混雑状況を確認することができます。

災害情報の発信ツールとして、防災行政用無線の他、くらし安心メール、LINE、X(旧 ツイッター) Yahoo! 防災(アプリ)など、ご自分が受け取りやすいツールを選んで登録しておくように推奨されています。



ハザードマップ(洪水・土砂災害、内水の2種類)には、防災情報や情報の入手先、避難所一覧表等が掲載されています。ホームページよりダウンロードできます。

障がい児者に配慮した取り組み

- 避難行動要支援者制度の整備を図っています。個別避難計画は現在見直し等を行っていて令和5年度にモデルケース1件(医療的ケア児)を作成。令和6年度中に居住地域や障がい状況などを考慮し要支援の優先度が高い人から3件のモデルケースを作成し、令和7年から実施体制を整えていく予定です。
- 福祉避難所として、障害福祉関係施設5か所及び介護老人福祉施設13か所と協定を締結しています。災害発生時に避難所や自宅での生活が困難になった避難行動要支援者や知的障がい児者の方を対象に、受け入れ・運営体制が整った施設から順次開設していきます。
- 伊勢原市は東海大学医学部付属病院と「災害時における医薬品の供給に関する協定」を締結しており、災害時に必要となることが想定される医薬品が備蓄管理されています。災害時には、市の災害対策本部に連絡して提供を受けることが可能となりますが、どのような薬が処方されているか把握できるように「お薬手帳」を非常持ち出し品に入れておくように周知しています。
- 車中泊用の駐車場として、小中学校の駐車場や校庭を使用することを想定しており、車中泊者用のコンセントを数か所ずつ設置しています。
- 電力確保に工夫しており、発電機はガソリンタイプ、LP ガスタイプの2種類を備蓄しています。また、電気自動車から電気供給するための可搬型給電機、燃料を必要としないソーラー給電型蓄電池も備蓄しています。

伊勢原支援学校 PTAでは、防災について実際に体験しながら楽しく学べるように『ぼうさいまつり』を昨年から実施しています。市の危機管理課、障がい福祉課や消防署、東海大学看護学科等の協力があり、支援学校の生徒・保護者だけでなく地域の一般の方々も多く参加されていて、防災意識の向上に役立っています。



仮設トイレやダンボールベッド組み立て体験



地震のゆれ体験 (コレタ)



看護学生による救急訓練

愛川町



防災情報入手方法	
愛川町公式LINE	避難所開設情報

人口:39,185人(令和6年10月1日時点)
知的障害者:431人(令和5年3月末時点)

防災行政無線の戸別受信機を有償配布しています！
(1万円:別途アンテナ設置工事代)

《防災意識の高い愛川町！》

愛川町は、障害者向けに特化した防災ガイドブックはありませんが、「愛川町災害時要支援者避難支援マニュアル」(24P)、「愛川町避難所防災マニュアル【地震時】」(2P)があります。ペットのいる家庭向けには「愛川町ペットの災害対策ガイドライン」(13P)があります。また、マイ・タイムラインのシートがホームページからダウンロードできます。



《防災の取り組みについて》

- 指定避難所は9箇所、福祉避難所は2箇所(福祉センターと中津公民館「レディースプラザ」)です。
- 「個別支援計画」はチェック(✓)で記入出来る項目があり、見やすくまとめられています。
- 被災者4,000名を想定し、3日分の食料や飲料水、衛生面ではトイレなどを備蓄するよう努めています。
- 福祉避難所にはプライバシー保護用の2人用マルチテント(30張り)や歯ブラシ、シャンプー、毛布など22品目が入った「日赤救援物資」を備蓄しています。
- トイレ(車椅子対応型)は3基保有しています。
- 非常食は食物アレルギー物資検査合格品のリゾットを備蓄。(一覧表は、各指定避難所の備蓄場所に掲出しています。)
- 薬は「大災害における厚木医師会の協力体制」に基づき、血压降下剤や解熱剤など32品を常時備蓄していますが、医師の診断のもと処方されます持病薬については、個人が避難する際、お薬手帳等の携帯を呼びかけています。
- 在宅避難者への支援については、在宅避難者の居住するエリアの指定避難所が拠点となります。特に「災害時要援護者制度」に登録いただいた方には民生委員児童委員と行政区長が実態を把握しており、避難の支援を行うことになっています。避難所に避難されなかった方も「避難者カード」の記載、指定避難所に提出すれば、同じ支援を行います。
- 車中泊については、健康面を考慮し推奨していません。



大和市



防災情報入手方法

ヤマトSOS支援アプリ



iphone



Andoroid

AED 設置 場所検索



人口:244,113人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:2,183人(令和5年3月末時点)

AEDはコンビニ・郵便局・学校・コミセンなどに配置されています。

災害に強いイメージの大和市

市制施行60年を超えてなお、自然災害による死亡者は0人！

その理由は？まず、液状化リスクは低く、津波は来ないと想定されています。水害への備えでは雨水の地下貯留施設も作られています。

土砂災害警戒区域も県内では少ない方です。建物の耐震化率も96%です。安心のできない大規模な火災の対策としては、誰でも初期消火活動ができるように、スタンドパイプ消火資機材をコンビニや学校など、537台設置しています。また、災害による断水時に生活用水として活用可能な災害時用協力井戸の登録は、令和6年3月時点で266件です。

ヤマトSOS
支援アプリの
登録をお勧め
します！



大和市防災マップは全戸配布されています。(令和4年3月版が現時点で最新)防災情報満載で、公共施設でも入手可能です。WEB版も公開されています。活用ください！



スタンドパイプ消火資機材



身近な場所に設置
され、だれでも
初期消火が可能！

障害者の為の防災の取り組み

- 避難行動要支援者支援制度を推進しています。

毎年6月頃から各地域の自治会・民生委員・地区社会福祉協議会へ避難行動要支援者名簿が提供されます。個別避難計画作成件数は、令和6年4月時点で184件。(重度の身体障害の方から進めていて、知的の方はまだこれからの状況) 個別避難計画のシートには、『かかりつけ医療機関、支援事業所、利用する福祉・医療サービス、住居環境(構造)』の項目を大和市独自に追加されています。

- 在宅避難の方も含めた想定で、特定原材料28品目を不使用する非常食、白米粥、ミルクアレルギー疾患用粉ミルクの備蓄がありますが、飲料水と非常食はご家庭でも備蓄をお願いします。
- 一般避難所は学校等33箇所。自宅生活困難で避難所で過ごせない場合に福祉避難所を開設します。
- 避難所も断水の場合は水は流せません。移動トイレもありません。簡易トイレの備蓄を推奨します。
- 一般避難所の備品に簡単なコミュニケーションボードの用意があります。
- 風水害時には、ゆとりの森駐車場等は車両避難用に開放しますが、緊急車両の為に、むやみな車移動は控えてください。
- 障害者施設には防災ラジオを配布しています。(自動受信)
- 家具転倒防止支援事業 (高齢者のみの世帯・障害者の居る世帯に1戸あたり2箇所迄、取り付けを支援) 工務店ボランティアが実施の為、申し込みから1か月程度かかり、利用は1回限り。(大和商工会議所へ) 自宅で大怪我をしない為に、家具・家電の転倒防止や避難路確保等の安全確認をお願いします！
- 地域自治会の避難訓練には積極的に参加して、どんな支援が必要なのか伝えてください！

海老名市



防災情報入手方法

防災HP	えびなメール
	

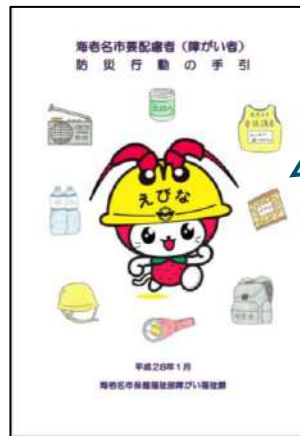
人口:141,339人(令和6年11月1日時点)
知的障害者:1,076人(令和6年4月末時点)



海老名市の障がい者の為の防災の取り組み

- ① 海老名市では避難行動要支援者名簿の登録制度を構築しています。
- ② 障害者手帳を所持する方には、障がい内容を記載したシールを貼り、支援が必要な事を知らせる事のできる「要援護者ベスト」が無料配布されています。
- ③ 「災害救助サポートカード」や、「要配慮者防災行動の手引き」も配られています。

「災害救助サポートカード」はHPからダウンロードできます。記入し、折り畳んで携帯します。



「要配慮者防災行動の手引き」はHPに公開されていて、ダウンロードもできます。(A4:33ページ) 各種障がい当事者の備えと、支援者側の支援についても書かれています。

- ④ 市が事前に特定した重度の障がいがある方には、福祉避難所が市内に2箇所、開放される事になっています。(海老名市立わかば会館・障害者支援センターあきば)
- ⑤ 自治会によっては、「安否確認フラッグ」という、玄関や門に下げられる物を活用しています。災害時に掲げ、ご近所・自治会に無事を知らせる事ができます。



海老名市では、「都心南部直下地震」、「南海トラフ巨大地震」等の大規模災害に加え、台風等の大雨により相模川を起因とする水害や土砂災害が予測されます。過去の大規模災害の教訓から、発災後しばらくの間は、行政の支援を受けることなく、地域住民が自発的に助け合い、避難行動や救助活動等を行うことが重要になってきます。

～参考～

海老名市が作成しているハザードマップは、洪水(相模川、目久尻川、永池川、鳩川)、内水、土砂災害となります。海老名市においては、高潮及び津波は想定されていません。

「海老名市防災ガイドブック」



いざというときに落ち着いて行動できるよう、災害ごとの対応、防災情報の入手方法や日頃の備えなどを掲載しています。ぜひ活用ください。(令和6年3月改定)

座間市



防災情報入手方法

緊急情報サービス	わが街ガイド

人口:131,838人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:1,251人(令和5年3月末時点)

座間市防災ハザードマップが地図情報検索システム「座間市わが街ガイド」で閲覧できます。

こちらの情報サービスメニューから、防災情報などが届く「座間市緊急情報いさま(メールサービス)」の登録も出来ます。
また、座間市のLINE公式アカウントもあります！是非ご登録ください！

防災ハザードマップには下記の情報へのアクセス情報をはじめ、情報面も充実しています。障害者に特化した防災ガイドはありませんが、必要な情報をチェックしておいてください。「マイ・タイムライン」作成の防災講座などの開催情報は広報誌でも案内しています。



ヘリコプター臨時離着陸場の実行性を確認するため、令和6年5月8日に陸上自衛隊のヘリコプターによる実際の離着陸訓練を新田宿グラウンドで実施しました。同訓練は、ダウンウォッシュ(吹き下ろし風)による影響や離着陸時の誘導要領などを確認し、大規模災害時の応急対策能力の向上を図るものです。市職員や同訓練を見学していた市民は、自衛隊員の説明に熱心に耳を傾けていました。



防災行政無線で放送された内容がよく聞こえなかった場合や、放送内容をもう一度確認したい時などに、放送と同じ内容が自動音声でも確認できます。(通話無料)
0120-673-679

避難所では、聴覚障害の方向けに、自発光式アンブルボードも用意しています。

防災への備え・取り組み

- 個別避難計画は、現時点で避難行動要支援者名簿に登録をされた方については、作成済みです。独自に追加した項目はありません。
- 座間市では、防災・減災について気軽に話し合える「ぼうさいカフェ」を開催したり、市の職員や市民、事業所など約5万3千人が参加の「シェイクアウト訓練」を実施しています。
- 避難所での備蓄などについて
 - ★ アレルギー対応食、ユニバーサルデザインフード、調味粉末で味づけられる白がゆなどの非常食。
 - ★ バリアフリートイレは避難所やコミュニティセンター既存のもののみです。お風呂はありません。
 - ★ 薬は常備していません。可能な限り個別に備蓄ください。
 - ★ 避難所では屋内テントや教室内など、避難者の状況に応じて対応します。

綾瀬市



綾瀬市は神奈川県ほぼ中央に位置し、市内を南北へ緩やかに流れる蓼川、比留川、目久尻川の三河川による河岸段丘と平坦地によって形成されています。

防災情報入手方法

綾瀬市公式LINE	安心・安全メール
	 優しい日本語

人口:82,830人(令和6年10月1日時点)
知的障害者:740人(令和5年4月1日現在)



安心・安全メールは各種外国語版と優しい日本語があります。



令和6年3月に新しくなりました。

～綾瀬市の障がい者への防災対策～

◇災害への備え

- 避難する準備(避難場所の確認)
 - ・災害が起きたときのことを話し合う。
 - ・家族との連絡方法を決めて練習を行う。
 - ・日中、施設や学校に通っている人は、災害時の避難場所や緊急連絡方法を伝えておく。
 - ・いざというときに避難の援助等をしてもらえるよう、お付き合いのある人をお願いする。
- 状況を伝える準備
 - ・ふれあい手帳の作成:自分のデータ、緊急時連絡先、健康状態、かかりつけの病院、相談機関、できることできないこと、サポートしてほしいこと、注意点などを記載しカードを作成しておく。
 - ・医療機関からの指示や緊急時の対処方法を家族でよく話し合う。
 - ・外出することについて、家族の人に伝えておく。また、ふれあい手帳を持っていく。

◇避難所の生活

- ・慣れない場所やたくさんの方がいるところや声の反響する場所では、精神的に不安になり、パニックになることもあります。人の移動が少ないような窓際や窓のある場所を確認する。
- ・必要な場合には、救護所に相談し、専門医の受診が必要な場合は専門医につないでもらう。
- ・顔見知りや仲間と同じ場所で過ごせるように、避難所に相談する。
- ・一次避難所で適応できない場合は、二次避難所などの落ち着けるところへ移動できるよう相談する。



平成31年3月に2年がかりで作成した「障がいのある方とサポートする方のための防災ハンドブック」は、あやとも協議会の防災対策部会で、障がい当事者、事業者、行政が一丸となって作りました。今も市内介護施設など含め、ALL綾瀬で、福祉避難所のこと、備蓄品の見学などをして、顔の見える関係づくりをしています。

相模原市



防災情報入手方法

さがみはらメールマガジン



さがみはら防災マップ



人口:723,586人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:6,810人(令和5年3月末時点)

防災情報を得るいろいろな方法がありますので、ライフスタイルに合った、使いやすい確認手段を利用できるように準備しておくように周知しています。

相模原市は、南区、中央区、緑区の3区に分かれていて、それぞれの地域で注意することが異なります。そのため、準備すること、自分の住んでいる地域の危険を日頃から知っておくことが大切です。相模原市では、地域や状況に合わせてさまざまな冊子を作成しており、ホームページからもダウンロードすることができます。災害時要援護者避難支援ガイドラインを作成し、地域を挙げて取り組んでいます。

<相模原市の障害者のための防災の取り組み>

- ① 緊急避難場所や避難所では、特別な配慮を必要とする人には、体育館のような大きなエリアではなく、教室での避難など、できる限り落ち着いて過ごせるように配慮します。災害発生後3日目を目途に福祉避難所(市と協定を締結した民間の福祉施設など)が開設されるので、必要に応じ移動することができます。
- ② 避難所には、水や食料が用意され、誰でも使えるような、ユニバーサルトイレが準備されています。在宅避難の場合でも、登録をしておけば必要な支援を受けることができます。困った時には避難所を頼りましょう。
- ③ 避難所には、自分の体調や状況を言葉にできない方が利用するには、ツールとしてコミュニケーション支援ボードが準備されています。
- ④ 相模原市では、避難行動要支援者を対象に、優先度の高い方から「個別避難計画」の作成を進めています。
- ⑤ 市障害者福祉団体災害対策合同委員会で、障害者災害時支援啓発パンフレットとして、「大地震の時助けてください」と「大地震の時生き延びるために」の2種類を作成し、配布しています。
- ⑥ 激しい雨や風に備えるための、「マイ・タイムラインわかりやすい版」を作成しています。

相模原市作成ガイドブック



相模原市では、地震による災害のほか、近年の気候変動による被害の増加を懸念し、「さがみはら気候非常事態宣言」を表明し、自然災害の防止 などにに向けた取り組みを推進しています。

お住まいの地区の防災活動をご存じですか？

市では、「自助」・「共助」による防災活動の推進の観点市内から、22地区において、地区ごとの特性に応じた「地区防災計画」が作成されています。お住まいの地区の防災活動を事前に確認しておきましょう。



相模原市地区防災計画 検索



藤沢市



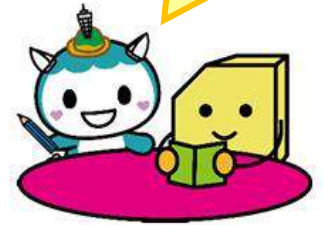
防災情報入手方法

ふじさわ防災ナビ	LINE公式アカウント
	

人口:443,757人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:3,788人(令和6年4月時点)

プランの内容について
相談支援専門員と確認し、
書類を作ります。



関係機関の連携で情報の共有を目指します

障がいのある人の避難行動、避難生活が円滑に行えるように、令和6年、障がい支援課が「安全・安心プラン」*を改訂し、個別避難計画併記版を作成しました。自宅近くのハザード、医療ケア、薬、介護、医療機器等の8項目が追加されました。(WEB上で公開されています)危機管理課と 障がい支援課で情報を共有します。

『ふじさわ防災ナビ』
(ハザードマップも含む)
『避難行動要支援編』
共にWEB版もあります。



*「安全・安心プラン」は
「地域生活支援拠点事業
等の整備」の一つ、
介護者の急病等の緊急時
の受け入れ・対応に関する
情報共有のプランです。

藤沢市の主な取り組み

- ❶ 危機管理課作成の個別避難計画には津波の場合の項目を追加しています。モデル地域先行で80件作成。今後は地域を拡大し、福祉専門職(ケアマネージャー、相談員)と連携を図り作成を進めます。
- ❷ アレルギー対応の長期保存食を備蓄しています。流動食はありますがきざみ食はありません。
- ❸ 避難所設置のマンホール型トイレは、介助は必要ですが車椅子の方でも利用可能です。段ボールやビニール袋をかけて排泄物をためるタイプのトイレと、紙おむつは子供用・大人用を備蓄しています。
- ❹ 薬の備蓄はしていないので各自で対応してください。災害時応急生活物資供給等の協力に関する協定を藤沢薬剤師会と締結。薬品の供給面では他の地方の事業者との締結も検討中です。
- ❺ 避難所生活のプライバシー対策として間仕切り及びテントを備蓄。大型扇風機、アルミシート、断熱シート、及び自家発電機を市民センターに備蓄しています。
- ❻ 配慮が必要な方を支援する取組として、災害時福祉ボランティア制度(看護師、福祉士、通訳等61名)があり、市民(藤沢市民とは限らない)の登録制度としており、毎年研修を実施しています。
- ❼ 在宅避難者には指定避難所に名簿登録することで食料等の物資が供給されます。各戸(各個)配布はできないので避難所に取りに行く必要があります。

- ❶ 全戸配布している冊子「ふじさわ防災ナビ」により災害時の備蓄の周知に努めています。防災業者と連携して、家具の転倒防止事業を進めています。



備蓄品や簡易トイレの
作り方、避難時の服装
など、役立つ情報が盛り
だくさん！



茅ヶ崎市



防災情報入手方法

防災・緊急情報	VACAN
	

人口:245,419人(令和6年10月1日時点)

知的障がい者:1,993人(令和6年4月1日時点)

災害時に市内の避難所44箇所の混雑状況をリアルタイムに伝えます。

市からの避難情報や水位情報、最新の気象情報など、災害時に必要な情報が確認できます。

災害リスク(洪水、土砂災害、高潮、内水、津波)ごとのハザードマップを配布しております。また、風水害のガイドブックは、あらかじめ避難行動を決めておく「かんたんマイ・タイムライン」が作成できるようになっています。



避難行動要支援者(知的障がいA1又はA2を含む)への支援対策

- ◎ モデル地区を選定し、個別避難計画作成のモデル事業を実施(令和3年度)
- ◎ チェックリストによる避難支援に必要な情報の把握(令和5年度～)
- ◎ 地域との意見交換による地域の取組状況の把握
- ◎ 協定福祉避難所の茅ヶ崎支援学校と連携し、資機材取扱訓練、車中泊訓練、防災講話などを実施。



避難所等で配慮していること

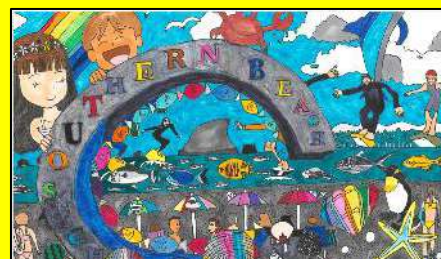
- ◎ 食物アレルギーの原因となる特定原材料7品目と、特定原材料に準ずる21品目を使用していない食料を備蓄しています。
- ◎ 要配慮者トイレ用に出入口の大きいユニバーサルテントを備蓄しています。車椅子のまま介護者などと一緒に入室が可能な空間になっています。
- ◎ 災害時用トイレ(ラップオン)を備蓄しています。簡単操作で、衛生的に、かつ排泄物などに接触することなく処理が可能です。
- ◎ 高さ1.8m、面積4.4㎡のプライベート空間を確保できるワンタッチパーテーションを備蓄しています。入口が大きく、車椅子利用者や足腰の弱い方でも出入りが可能です。
- ◎ 多目的ベッドや簡易ベッドを備蓄しています。多目的ベッドは、就寝時などのベッドに加え、脚部分を分離してテーブルや腰掛けとしても使用できます。
- ◎ 聴覚障がい者などが災害時にうまく状況を伝えるためのツールとして、災害用コミュニケーションボード(県作成)を避難所に順次備えつけています。



ちがさき障がい者支援アプリでは、お知らせ配信機能を活用して、登録者に災害情報をプッシュ型で発信します。



ちがさき障がい者支援アプリの登録を!



寒川町



防災情報入手方法		
メール配信サービス		公式LINE
PC・スマートフォン	ガラケー	

人口:48,520人(令和6年10月1日時点)
知的障害者:481人(令和5年3月末時点)

防災情報

障害者用の防災ガイドブックはありませんが、「寒川町防災ハンドブック」(34ページ)があります。①地震 ②風水害

暮らしの情報から防災情報まで。寒川町のメール配信サービスと公式LINEがお勧めです。是非登録してください！

③日頃の備え(情報の入手先なども) ④避難所での生活の4つのカテゴリーの充実した内容です。その他、ホームページからは、「内水ハザードマップ」も入手できます。大きな地図面の裏面が情報面です。「寒川町洪水ハザードマップ」の地図もあり、どちらもダウンロードが可能です。また「地震防災マップ」として「e-マップさむかわ入口」へのリンクがあり、色別で土地の成り立ちがわかります。



障害者の為の取り組み・備蓄など

- 防災行政用無線放送内容確認ダイヤル (0467)74-0999
- 避難所用ファミリールームなどがあります。
- 神奈川県で作成した指差しコミュニケーションボードがあります。
- お風呂はありません。
- 特定原材料等(アレルギー物質)27種類不使用のアルファ化米などを備蓄しています。
- 車椅子で入れる大型テントと、手すり付きの組み立て式トイレを各避難所に備蓄しています。
- 一般医薬品は、寒川小学校・一之宮小学校・旭小学校の医療救護所3拠点に備蓄があります。
- 「さむかわ出前講座」として、障害者施設及び当事者団体を対象に、防災の話をした実績があります。
- 寒川福祉団体協議会(聴覚、視覚、自閉症児者親の会、手をつなぐ育成会の4つの団体)でプチ防災訓練を開催しています。



避難所開設状況が確認できます。

個別避難計画

R6年11月24日には「さむかわ安心・安全フェア」を初開催！



寒川町避難行動支援者きずなプラン(避難支援全体計画)における「災害発生時等における避難支援希望確認書兼個別支援プラン」が現在の災害対策基本法における「個別避難計画」に該当します。本プラン独自の事項として、「加入自治会名」「家族構成」「地震等の災害発生時における避難支援に配慮しなくてはならない事項」「民生委員氏名・電話番号」の4つを記載することとしています。



寒川町「避難行動要支援者支援について」のページにはこちらの二次元コードから入れます。



平塚市



防災情報入手方法

防災ひらつかチャンネル



ほっとメールひらつか



人口:258,380人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:2,356人(令和5年3月末時点)



県立の支援学校が4校(平塚盲・平塚ろう・平塚支援・湘南支援)があります。海に面していて、大きな川(相模川・金目川)もあるため、高潮・津波・洪水・内水のリスクがあるので、ハザードマップは充実しています。

防災情報と取り組み

- ⊗ 「ひらつか防災ガイドブック」(2024年1月 最新版) → 音声コード「Uni-Voice」も採用しています。災害時の口腔ケアや避難行動要支援者についてのページがあります。
- ⊗ 「防災ひらつかチャンネル」(防災対策課の公式YouTubeチャンネル)で楽しく簡単に防災が学べます。↗
- ⊗ 「ほっとメールひらつか」は、生活に身近な情報や緊急情報が配信されます。(登録ガイダンスはHP参照)
- ⊗ 防災無線の内容を、市のホームページや文字情報で発信しています。
- ⊗ 「ひらつか市民生活ガイドブック」(毎年更新)のp26～p33にも防犯、防災情報があります。
- ⊗ FM湘南ナパサ(周波数78.3MHz)は防災ラジオとして防災インフォメーションを多言語で行っています。(英語・ポルトガル語・タガログ語・スペイン語・中国語)
- ⊗ 女性防災クラブ「平塚パワーズ」や「ひらつか防災まちづくりの会」が活躍しています。
- ⊗ DMAT(災害派遣医療チーム)・DWAT(災害派遣福祉チーム)・保健所と平時から連携しています。
- ⊗ 市民は訓練体験(起震車など)が可能です。(20人以上の申し込み)
- ⊗ 個別避難計画は、要支援者本人の状況を「避難判断について」「避難行動について」「避難生活について」の3つのフェーズにおいてわかりやすく独自に工夫されています。



平塚市の備蓄

- ⊗ ユニバーサルデザインフードマーク(食べやすさに配慮した食品)がついた物を中心に配慮しています。栄養バランスに配慮し、野菜ジュース・野菜スープも備蓄しています。
- ⊗ 断水時も使えて衛生的な「マンホールトイレ」車椅子用にテントの広い物も有ります。(各避難所への設置を加速)
- ⊗ 「福祉の視点も含めた避難」として、福祉避難所の充実:ポータブル蓄電器(音のしないタイプ)の設置と、災害対策用プライベートルームの設置 → ラップポン(自動ラップ式トイレ)の備蓄拡充などを進めています。
- ⊗ 携帯トイレは、在宅避難を含む想定避難者9750人分×3日分を、避難所の防災倉庫に分散備蓄しています。
- ⊗ 避難所が在宅避難者にとっても、物質や情報の拠点になるということ、避難所運営側(市職員・施設の管理者・自治会の役員等)、及び地域住民に周知しています。



自動ラップ式トイレ「ラップポン」を(全避難所に2台ずつ設置済)です。



大磯町



防災情報入手方法

おいそ防災・行政ナビ



人口:30,833人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:318人(令和5年3月末時点)

2020年4月スタートの大磯町公式防災アプリです。災害時に限らず、平時から役立つ情報が通知されます。

防災の取り組み

- ★ 個別避難計画の進捗状況は74%(274/371名)
- ★ HUG(避難所運営ゲーム)の貸出しや、職員出前講座も行っています。
- ★ インクルーシブ遊具のある公園には、かまどベンチが設置されています。
- ★ 町内の小・中・高校、5校にマンホールトイレ等災害対応トイレ124基を設置しています。

風水害(台風・大雨)と地震・津波の「マイ・タイムライン」シートがダウンロードできます。「ひなんの時間割」という子ども向けもあり、家族で話し合いながら記入できるようになっています。

- ★ 一次避難所及び二次避難所となる福祉避難所には、アレルギー対応のアルファ米や、高齢者等でも食べやすいサバイバルフーズの雑炊等の整備をしています。
- ★ 毎年、総合防災訓練を実施しています。令和6年度は、6月に風水害避難訓練として「安否確認訓練」「避難訓練」「避難所開設・運営訓練」「地区情報受伝達訓練」に分けて実施し、118の方が参加しました。11月には、津波土砂避難訓練として「第1部・町内全域で避難訓練」「第2部・各指定避難所で避難訓練」で実施し、合わせて約2,000の方が参加しました。
- ★ 各ハザードマップの他「おいそオンラインマップ」(大磯町統合型GIS)のリンクがホームページにあります。
- ★ 能登半島地震で個人備蓄が注目され、何が必要かを考えるきっかけになり、個人備蓄の普及促進を目的とした防災グッズの販売も行いました。

高校生制作の防災教育動画

県立大磯高等学校SF研究部が制作した小中学生向けの防災教育動画DVDが大磯町教育委員会に寄贈されました！youtubeでも視聴できます。



小学生向け「イソホークスと学ぼう！」 25分
磯高戦隊イソホークスとクイズ形式で楽しく防災を学べる

中学生向け「キミの守り方」 24分
ドラマ仕立てで、災害時の判断や避難行動が学べる



二宮町



防災情報入手方法

防災アプリ HAZARDON



iPhone



android

人口:26,685人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:266人(令和5年3月末時点)



防災情報アプリ
(ハザードン)の登
録をお願いします。

二宮町は、海沿いの場所が多くありますが、隣接している海沿いの町に比べて海拔が高いという特徴があります。平均的に海拔20m以上ある場所が殆どです。しかし津波がきても絶対に安心とは言えません。自然災害には想定出来ないことが起こりえるからです。二宮町は自然豊かな町ですが、それは同時に津波や土砂崩れ、葛川の溢水などの被害の危険性があります。災害に備えて準備しておくことが大切です。



ハザードマップ、
防災ガイドは全
戸配布されてい
ます。(令和3年
10月版)公共施
設入手可能、
web版も公開。



マイタイムライ
ン(一人ひとり
の避難行動計
画)を作成し、
家族で確認し
ましょう!

- **緊急時医療情報シート**(避難行動要支援者台帳)の登録を推奨しています。毎年6月頃に各地区長へ登録情報が提供され、災害時には避難支援や安否確認をすることになっています。
- **個別避難計画**については令和5年度神奈川県モデル事業に選ばれ、レットゾーンに住んでいる独居高齢者など優先度の高い方から策定しています。
- **災害時の情報発信**は防災行政無線、防災アプリ(ハザードン)、電話・FAXのほか、令和6年度10月から公式LINEによる発信もスタート。防災アプリは多言語対応のほか、目の不自由な方に配慮した音声読み上げ機能もあります。
- **災害時食料について**はアレルギー対応食品についても一部備蓄していますが、飲料水と非常食は各ご家庭で最低3日間分を使いながら備蓄する「ローリングストック」をしていきましょう。
- **薬について**は、薬剤師協会と協定を締結しているため、災害時に一定数の供給が可能ですが、持病のある方や常時服用している方は、薬のストックとお薬手帳のコピーを準備しましょう。
- **避難所**となる各小中高等学校では、一定数の「パーテーション」を備蓄しています。「簡易トイレ」は洋式・和式を備蓄していますが、災害時に少しでも慣れている家でトイレができるよう、家庭での備蓄をお勧めします。
- バリアフリー化されているため、福祉避難所として開設可能な防災コミュニティセンターには、一般利用の「シャワー設備」があります。しかし断水時等は使えないため、各家庭でウェットティッシュや水のいらぬシャンプー、歯磨き粉など備蓄しておきましょう。
- 車で避難できるように調整していますが、送迎のみで駐車はできません。
- ペットと同行避難できる避難所がありますが、日頃のしつけと避難時に必要な用具の準備をして下さい。
- 「発電機(ガソリン・ガス)と蓄電池」を備蓄していますが、停電時の全ての電気を供給することはできません。スマートフォンの充電などは簡易のソーラー発電などがあると便利です。
- 令和6年度は湘南にのみやふるさとまつりに合わせて、体験型の防災フェアを開催しました。

小田原市



防災情報入手方法

おだわら防災ナビ



iPhone



Android

防災ナビは避難情報発令時に画面が緊急モードに切り替わります。

障がい者の為の取り組み

人口:185,926人(令和6年10月1日時点)

知的障がい者:2,054人(令和6年3月末時点)



「知的障がい者向け災害への対応ハンドブック」があります。ふりがな付きの25ページで、風水害の時のタイムラインページや、自分なりの備えや連絡先ページ、簡単なコミュニケーションボードのページもあります。知的障がいの他に肢体不自由、精神障害、視覚、聴覚、内部障害・難病者向けもあり、それぞれホームページからダウンロードできます。



令和4年9月に、ハザードマップが新しくなっています。ハザードマップの見方や避難判断、マイ・タイムラインシート、など情報面も充実しています。



避難所などの備え

- 【情報発信】 防災無線等では専門用語は使用せず、できるだけわかりやすい言葉で発信します。防災行政無線の放送内容をフリーダイヤルで確認できます。0120-244-400
- 【工夫】 コミュニケーションボードや支援内容を書けるヘルプマークビブス(◎写真)の用意。
- 【睡眠】 間仕切りパーティションタイプ(★写真)などを備蓄。
- 【お風呂】 シャンプー(国が行うプッシュ型物資支援の対象品目)
- 【トイレ】 一般用2個、車椅子用1個を備蓄。マンホールトイレを整備中。
- 【食量備蓄】 アレルギー対応のアルファ化米やレトルト食品、幼児用ミルクを備蓄。
- 【仮設救護所】 市内4カ所の広域避難所に併設され医師や薬剤師が対応します。



ナビ・オダワラ Navi-O は地理情報システムです。普段使いができますが、防災情報もあります！



- 【福祉避難所】 市内4カ所に設置予定。その他、緊急受け入れ先として、社会福祉法人等15カ所。
- 【いっせい総合防災訓練】 令和6年度は11月2日(土)シェイクアウト訓練、住民避難訓練、避難所開設・運営訓練、防災資機材取扱訓練、ペット同行避難訓練などを行っています。

頭を守り姿勢を低くして動かない！



南足柄市



防災情報入手方法

マチコミ登録

公式LINE



iphone



Android



人口:39,358人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:420人(令和5年3月末時点)



災害時の安否確認 ～安否確認タオル～

無事を知らせる安否確認タオルを玄関先などに表示することで、迅速な安否確認などに繋がります。毎年9月に市総合防災訓練を実施していて、全自治会の共通訓練として、市内一斉に安否確認タオル(白い布やタオルなど)を用いた訓練を実施して定着化を進めています。

防災の取り組み

- 食料はアレルギーに配慮したアルファ化米を備蓄しています。
- 簡易トイレに取り付ける手すりやユニバーサルトイレ用のテントを備蓄しています。

段ボールベッドは簡単に組み立てができ、耐荷重は1,000kg程度あり、災害時に役立ちます。



『マイ・タイムライン』のシートはホームページからダウンロードできます。



防災ハザードマップは、地図面の裏に「マイ・タイムライン」、浸水、風水害、土砂災害、避難のポイント、非常持出品・備蓄品チェックリストなどの防災情報が満載です。



帰宅困難者一時滞在施設

地震等により、鉄道やバス等の公共交通機関が停止した場合や、道路が寸断するなどした場合に、女性センター及び道の駅足柄・金太郎のふるさとを、「帰宅困難者一時滞在施設」として指定しています。発災後すぐに開設するわけではなく、開設の必要性和施設が使用可能な状態かを判断して、開設を決定します。

ラップポン・トレッカーは、水を使わずに排泄物を1回毎にフィルムで密封するため、衛生的に処理することが可能な簡易トイレです。フィルムは臭いや菌を外に漏らすことはなく、ラップすることにより汚物や吐しゃ物による二次感染を予防します。また、ポリエチレン素材のため焼却しても有害ガスが発生せず、ラップされた袋は紙おむつと同様の処理が可能です。

女性センター 〒250-0105 南足柄市 関本591番地1 ヴェルミ3 3階
道の駅足柄・金太郎のふるさと 〒250-0111 南足柄市 竹松1117番地1

電話 0465-73-8211
電話 0465-70-1815

箱根町



防災情報入手方法

箱根町メルマガ	はこね防災ガイドブック
箱根町のHPで閲覧	

『はこね防災ガイドブック』には地域ごとの防災マップが載っていて、避難所の場所や災害危険地帯が示されています。大きさがB4サイズで、見開きの地図はB3の大きさになりますので細かいところまでとって見やすいガイドブックです。ホームページでも見ることができますが、是非冊子版をご覧ください。役場総務防災課または出張所で配布しています。



人口:10,865人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:79人(令和5年3月末時点)

箱根市の特色として、人口1万1千人に対して、観光で訪れる人は令和5年度の集計結果で1,951万人という多さです。災害が起きた時、住民の何倍もの観光客であふれることが予想されます。

宿泊施設との避難所開設提携

災害が発生し、または発生する恐れのある場合、町から宿泊施設に対して避難所の開設を依頼することができるよう、町内7施設と連携しています。

湯本:近江屋旅館、あうら橘、ホテルおかだ
 仙石原:温泉旅館みたけ
 箱根:山のホテル、匠の宿佳松、和心亭豊月

『避難所』と『避難場所』

『避難所』は体育館や公民館など公共の建物のことで、箱根町全体に27施設あります。

これらは地震や風水害の災害時に対応可能となります。

『避難場所』は屋外に避難する場所のことで、湯本、宮城野、仙石原、箱根など、地域ごとに多数設けています。

※町が指定する避難所・避難場所が変更・増設されている場合がありますので、災害時には町ホームページ等で確認してください。

活火山としての箱根山

箱根山は今から40万年前に活動をはじめた活火山です。

箱根山はたびたび火山活動が活発化し、噴火レベルが引き上げられるなど、現在も活動を続けていますので、火山噴火に伴う災害にも注意が必要です。

交通防災情報 統合webサイト『はこぼうマップ』

- 避難所の開設、混雑情報など避難所の情報がわかります。
- 避難所までの経路が、現在地または指定位置から検索可能です。
- そのほか、路線バスの現在位置情報や各交通機関の運行状況がわかる画面など、平時に役立つ機能もあります。



はこぼうマップ



箱根町の障害者のための防災の取り組み

- ◆ 観光地としてバリアフリー化が進んでいるので、車椅子で利用できるトイレや施設などの設備がかなり整備されています。もしもの時にも介助者と一緒に入れる多目的トイレがあちこちにあるのは安心です。
- ◆ 福祉避難所は町内の高齢者施設3か所を指定しています。
- ◆ 上記で記載しているように、町内計7か所の宿泊施設等事業所と「災害時における避難所開設の協力の覚書」を締結しており、災害時には要支援者等を優先し収容することを想定しています。
- ◆ 災害時要援護者(要配慮者)支援制度は「誰が、誰を、どのように支援する」という具体的な避難支援をするものです。希望される方は「箱根町災害時要援護者(要配慮者)登録同意書兼登録台帳」により、町に申請してください。
- ◆ 在宅避難者には、住民相互で助け合い、共助として住宅の要配慮者への生活物資の配送等は地域で対応する意識を持つよう努めます。

真鶴町

防災情報入手方法

真鶴町お知らせメール



人口:6,187人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:76人(令和5年3月末時点)



個別避難計画

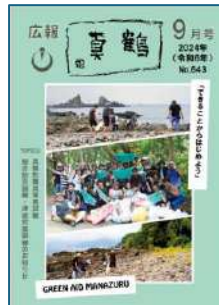
真鶴町は、令和5年度国の災害時「個別避難計画」モデル事業として、避難行動要支援者名簿から3名の他、難病の方や自宅で医療行為が必要なお子様を含む計5名に対し個別避難計画を作成しました。



坂道や狭い道路が多い事など地域の実情を考慮し、指定避難所へのストレートな避難ではなく、それぞれの地域で工夫された避難経路を作成できるように配慮されています。「個別避難計画」には個別の住居事情や一時避難場所の地図などの工夫があり、これから作る地域にも参考になるかもしれません。例えば「避難さんぽ」といって、自宅から指定避難所までの間に、安全を確保しながら、一休みできそうな場所を見つけ時間を計り、避難にかかる時間を意識することも大切です。避難するかしないかの選択をどう判断するか、自宅内の防災対策、自宅内での安全な避難場所など、必要なことを確認しておきましょう。

保険福祉課では知的障害者の障害の状況、住所、家族情報などについて、一人一人把握していますので、発災時は個別に連絡が出来る状況にあります！

広報誌でも「個別避難計画」の案内をしています。



「幸せをつくる真鶴時間マップ」

というスマートフォンの専用サイトができました。生活情報からハザードマップや避難所などの防災情報まであります。ご登録ください！



災害への町の備え

- トイレのバリアフリー対応については、タンク貯留式トイレ、簡易トイレ(ゲル化剤袋式)と簡易テントがあり、水のない場所でもトイレを設置できるようにしています。
- 睡眠(プライバシーへの対応など)には、ダンボール間仕切りと避難所室内テントがあります。
- アレルギー食、卵不使用のパン缶等を用意しています。
- 入浴施設の対応はありません。
- 薬の対応はありません。備えておきましょう。(町内に調剤薬局3カ所)

ホームページからは「土砂災害ハザードマップ」「津波ハザードマップ」「マイ・タイムライン」(避難行動計画)がダウンロードできます。土砂災害については前兆現象なども掲載されていますので要チェックです！



湯河原町



防災情報入手方法

ゆがわらメルマガ



ゆがわら防災ポータル
サイト



人口:22,106人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:232人(令和5年3月末時点)



防災取り組みと知的障害者への配慮

- 災害発生時は全町民に向けメルマガ、ホームページで情報発信しています。
- 「ゆがわら防災ポータルサイト」でハザードマップなどの防災情報が得られます。「津波災害計画区域」「洪水浸水想定区域」のマップの他に、土砂災害警戒区域情報があります。
- 全町民に向け発行している『ゆがわら防災マップ』の中に、障害のある方のための情報ページ(P16)があります。
- 高齢者、障害者、要介護者、障害者がいる家族にむけ、必要な持ち出し品をホームページに掲載しています。要支援者の避難については、神奈川県立小田原支援学校湯河原校舎と(NPO法人)地域作業所「たんぽぽ」の2カ所と協定を結んでいて、安心して避難できる場所を確保しています。
- 福祉避難所の「避難確保計画」や、事業所の受け入れや対応能力について、発災以降に情報提供ができるように準備します。
- 各避難所には、間仕切り、テントがあります。長期避難となった場合は、避難所のレイアウトを変更し、要配慮者に対応できるように調整します。
- 温泉施設が多く、バリアフリーの施設も多いことから、必要時に調整して確保したいと考えています。
- 食料は一部ですがアレルギー対応の物や、おかゆ・ビスケットなどの食べやすい物も備蓄しています。
- 備蓄品として、ペースメーカー対応の発電機を10台、集中保管しています。
- 災害時には、必要な薬を協定に基づき確保し提供します。また、小田原薬剤師会と協定を結んでいます。



津波からの避難に備えた、色分けされた海拔表示板が町の各所にあります！

- 10m以下
- 10~15m
- 15m以上



湯河原の平和と笑顔を守る、
『ゆがわら戦隊ゆたぽんファイブ』

平常時は、町民の皆さんのコミュニティ活動の場ですが、災害時は、260名収容の避難所、または町防災活動の拠点になります。地下部分に防災倉庫なども備えた施設です。
〒259-0301
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目21番地

個別避難計画について

独自の項目は無いですが、情報収集時にその方の個別性に寄り添い、配慮すべき内容を記載できるよう、障害等級や避難時の留意事項の項目を設けています。どのような状況になるか、誰が支援し、どのような手段で避難するか、そこに公的な支援が必要か、そうした個別の計画を考える事が重要だと考えます。昨年度は1件、今年度は2件作成予定です。事例については知的障害児者を優先し、県と連携しつつ、作成を進めていきます。



防災コミュニティセンター

松田町



防災情報入手方法	
松田町公式ホームページ	防災用サブサイト
	 令和7年4月以降有効

人口:10,271人(令和6年10月1日時点)
知的障害者:116人(令和5年3月末時点)

令和6年5月、松田町地域防災計画とともに南海トラフ地震防災対策推進計画と富士山火山避難計画が策定されました。

防災に関する取り組み

- 災害時には町ホームページが災害用の特設ページに切り替わります。
- ハザードマップは、ハザードマップの見方が理解できるよう、詳しい説明があり便利です。
- 年間スケジュールでは「防災講演会」を行っています。
- 避難行動要支援者は各自治体や民生委員が把握しています。日頃から見守り、年1回の防災訓練を通して情報発信を行っています。
- 町の各指定避難所(生涯学習センター・健康福祉センター・幼稚園・小学校・中学校など)は、防災資機材の整備、飲料・食料の備蓄などで非常時に備えています。
- 備蓄食料はレトルト・カレーライスなどを温かくして食べられるようにヒートパックも備蓄しています。それ以外にも、高齢者・障がい者・乳幼児・疾病者などの要配慮者に配慮し、塩分・温かいもの・柔らかさなど、健康状態に応じられるように、備蓄を行っています。
- 町ホームページに「マイ・タイムライン」シートがあり、発災時の行動を整理することができます。



指定避難所：松田小学校

松田小学校は避難所としての機能を持たせ建設されました。

- ★ バリアフリートイレがあります。マンホールトイレもあります。
- ★ 停電時76時間使用できる40kw大型発電機を備え、照明・エレベーターが使用可能です。
- ★ 2人用簡易テント・マットがあり、今後4人用かまぼこ型テントも備蓄されます。避難所内にテントを設置し、避難者のプライバシーを守ります。(授乳・着替えなど)
- ★ 40tの飲料水兼用型耐震貯水槽を備え4,400人が3日間必要な飲料水を確保しています。
- ★ 体育館棟1階の会議室などは要支援者や高齢者の避難スペースとして確保されています。



松田町公式LINEでも災害時の情報発信があります。ご登録ください！



現在配信されている「松田町安心メール」は、令和7年度から「すぐメール」に切り替わる予定です！松田町からのお知らせをお待ちください！

開成町



防災情報入手方法

開成町あんしんメール

開成町公式LINE



人口:18,743人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:174人(令和6年3月末時点)



インデックスはこんな感じです。

「開成町防災ガイド」は、インデックス付きで項目ごとにすぐページが開けられるように工夫され、絵を用いてわかりやすくできています。要配慮者については日頃の地域の取り組みについても記載があります。マイ・タイムラインの作成手順も丁寧で、誰もが作成しやすく、この一冊があれば町の情報がしっかり得られるようになっていきます。「開成町防災ガイド」で 🔍 検索するか、こちらのQRから登録してください。



障害者の為の防災の取り組み

- 自主防災会や民生委員が個別に情報発信をしています。
- 防災行政無線・メール・LINE・HP・TVによる情報発信も行っています。
- 個別避難計画について、システムにより要配慮者を把握し、策定に取り組んでいます。
- 災害時に備え、福祉バイオトイレカーの提供について協定を締結しています。
- 福祉避難所トイレの洋式化を進めています。
- 薬は医療品メーカーと協定締結しています。また、災害用薬品保管(町内医療機関)各指定ハザードマップの中に、要配慮者のための記載欄があります。
- 自宅が浸水した時の避難の目安がフローチャート図で記入できるのでわかりやすく、自宅の危険度や避難場所、家族の取り決めなどが記入できるようになっています。
- 避難所にはコミュニケーションボードを配備しています。

その他の防災の取り組み

- 町民向けに防災講座を開催しています。
- 防災講座受講した有資格者などにむけ、地域防災リーダー養成講座および地域防災リーダースキルアップ講座も開催しています。
- 地震だけでなく、火山噴火の際の降灰や土石流などの被害も予想されています。

神奈川県版の「富士山火山防災マップ」もご覧ください。

- 令和6年1月24日に茨城県大洗町と、令和6年7月7日に茨城県茨城町と、災害対応力強化の一環として、災害時相互応援に関する協定を締結しました。お互いの地域において、大規模災害が発生した場合に、食料・飲料水・生活必需品・資機材等の提供、救援及び災害復旧に必要な職員の派遣等実施するものです。



防災訓練の様子



山北町



防災情報入手方法

山北町あんしんメール



人口:9,093人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:88人(令和5年3月末時点)

キャンプ場や道の駅があり、多くの方が訪れます。災害時は全ての被災者は等しく町の支援を受けることができます。

防災情報

こちらのQRコードから、または t-yamakita@io.dataeast.jp宛てに空メールを送信してご登録ください。

- ホームページの先頭画面に安心安全のための5項目を情報発信の入り口として掲載しています。
- 県では、大規模に盛土造成された宅地のおおむねの位置を示す「大規模盛土造成地マップ」を公開しています。 <http://www2.wagmap.jp/pref-kanagawa/> 山北町では町内に分布する大規模盛土造成地の位置などの情報を皆さまに提供し、防災意識を高めていただくことを目的として「大規模盛土造成地マップ」のURLをHPに掲載しています。
- 総合防災訓練では訓練参加者全員で「神奈川シェイクアウト」(地震に対する防護姿勢)の訓練、大型地震発生時に自治会が実施する「安否確認」の要領を確認・訓練します。

地震・水害・土砂災害・火山災害・火災等をまとめた「わが家の防災ハンドブック」です。



富士山噴火の際に溶岩流が発生した場合、およそ33時間で山北町に到達する予測があります。県が「富士山火山防災マップ」を公開しています。

こちらもご覧ください！



ハザードマップはダウンロードできますし、役場や支所でも入手できます。



山北・岸・向原・共和・清水(一部)地区 / 清水・三保地区 / 酒匂川流域 の3地区別

障害者の為の防災の取り組み

- 避難行動要支援者支援制度について、障害者手帳をお持ちの方や要介護認定を受けている方で、要件(障がいの程度、要介護度など)に該当している方に対し、同制度への登録を勧奨(おすすめ)しています。
- 備蓄する非常食はアレルギー(28品目)対応食です。(一部長期保存食を除く)
- 避難所ではパーテーションを準備。
- 福祉避難所という形ではないが、避難所の一部(生涯学習センター2階と山北中学校体育館の1階)を「要配慮者避難エリア」として設定して、家族が避難できるように訓練しています。(避難所の構造により均一ではありません。)

大井町



防災情報入手方法

大井町あんしんメール	大井町LINE

人口:17,264人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:154人(令和5年3月末時点)

「大井町あんしんメール」、「大井町LINE公式アカウント」も是非ご登録ください。



ハザードマップは大井町役場庁舎2階・防災安全課で入手可能です。掲載されている「避難行動判定フロー」は各自の災害リスクと、取るべき行動の確認ができるようになっています。



↑『防災を学ぼう! スペリイラーニング』youtubeで動画公開中です!

「ハザードマップ編」「家庭対策編」「災害時の必需品を備えよう」の3編があります。

是非ご覧ください!

大井町の防災の取り組み

大井町では、避難行動要支援者登録制度登録者全員の個別避難計画が策定されています!

- ★ 個別避難計画では独自の項目として、「普段いる部屋や寝室の場所」と、「あしがら安心キットの有無」、「要配慮事項のチェック項目【①医療機器の装着をしている ②立つことや歩行ができない ③音が聞こえない(聞き取りにくい) ④ものが見えない(見えにくい) ⑤危険の判断にサポートが必要】」が設けられています。
- ★ 未登録の方でも該当と思われる方へは広報での周知の他、年1回制度の案内を行っています。また、民生委員・児童委員の協力で個別に声をかける取り組みもしています。
- ★ あしがら安心キットは、自宅で体調が悪くなり救急で医療機関に行く場合や災害時避難所に行く場合など「もしも・・・」の時に、命の情報を伝えるためのシステムです。「かかりつけ医療機関」「緊急連絡先」「服薬している薬の情報」などを容器に入れ、冷蔵庫で保管し、救急時や災害時に救急隊や家族・本人が持参することで救急隊や医師などから適切で迅速な処置を受けやすくなり、親族などへの連絡もスムーズに行うことができます。

災害備蓄品・その他の備え

防災行政無線で自動録音された音声を、電話で確認できるサービスもあります。0465-82-0120 24時間対応(通話料はかかります)

- ★ アレルギー対応としてクッキー・アルファ米・レトルトご飯を準備しています。
- ★ 床面がフラットのマンホールトイレが中央公園駐車場に設置されます。
- ★ 各避難所の備蓄コンテナには車椅子対応型の組み立てトイレがあります。
- ★ 「プライベートルーム(室内型テント)」18個、「クイックパーテーション」27個、「ひなんルーム(簡易テント)」約570個を備蓄しています。
- ★ 保健師以外でも防疫対策が行えるよう、各避難所の防災コンテナの中には防疫対策のパンフレットなど各種啓発媒体を準備しています。
- ★ 「大井町非常用指定井戸」(防災井戸)として町内の井戸所有者と提携を結んでいます。現在の登録は、58か所。「大井町協力指定井戸所在地」という看板が掲示されています。
- ★ 地区ごとの避難所はホームページでご確認ください。

中井町



防災情報入手方法

Yahoo! 防災速報



中井町安心・安全メール
(easy pocket
サービスを利用)



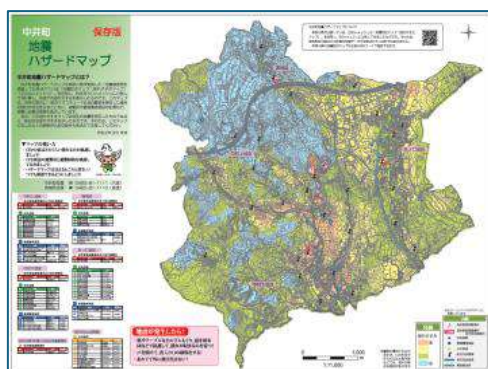
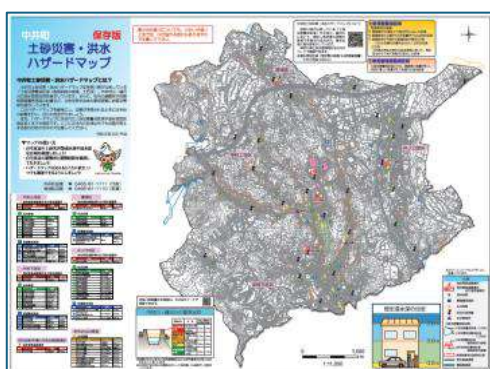
人口:8,907人(令和6年10月1日時点)

知的障害者:96人(令和5年3月末時点)

中井町は小さな町ならではの良さとして、家族まるごと顔なじみという雰囲気があります。

《防災の取り組みと情報発信について》

- 浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設について個別に情報発信を行っています。
- 防災無線の放送内容を電話やスマートフォンで確認できるサービスの他、「中井町安心・安全メール」や「SNS」で災害情報等を配信しています。
- 防災ガイドブック(15P)の他、土砂災害・洪水ハザードマップ、地震ハザードマップがあり、地区ごとに分かり易くまとめられています。



- 個別避難計画は現在策定されていませんが、様式を含め今後検討し、計画策定に向けて取り組む予定です。
- 災害時は、町内2ヶ所(中村小学校、井ノ口小学校)にマンホールトイレを設置できるように準備しています。広めのスペースを確保し、手すりがついた利用しやすいトイレです。



マンホールトイレ(井ノ口小学校駐車場)



防災倉庫

- 指定避難所は4ヶ所(小学校2、中学校1、境コミュニティセンター)です。福祉避難所はありません。
- 避難所では一般的な間仕切り(簡易テント)によるプライベート空間を確保しますが、個々に空き教室等を使用することには柔軟に対応することとしています。車中泊用の駐車場は総合グラウンド、中井中央公園等の公共の駐車スペースを確保する予定です。
- 非常食は、避難所に行かれない人(在宅、車中泊)への配布も予定しています。
- 「ヘルプカード」「防災ベスト」を福祉課窓口で配布しています。「防災ベスト」は指定避難所にも備蓄。

「防災ベスト」は必要な支援やご本人の状況など自由に書き入れることができます。



清川村



防災情報入手方法

土砂災害・洪水ハザードマップ

避難所開設情報

清川村のHPで閲覧



人口:2,868人(令和6年10月末時点)
知的障害者:37人(令和6年9月末時点)



県のHPより



清川村土砂災害・洪水ハザードマップは、令和3年3月末現在において、土砂災害防止法及び水防法に基づき、神奈川県が指定した村内の土砂災害警戒区域及び洪水想定区域を示したもので、村内に全戸配布しています。清川村ホームページにはWEB版も公開されていますので、ぜひご利用ください。

清川村は、北西部の東丹沢山麓に位置する「神奈川県で唯一の村」です。全域が丹沢大山国定公園と県立丹沢大山国定公園に指定され、県の天然記念物であるモミの原生林や豊かなブナ林に恵まれた良好な水は溪流の源となり、風光明媚な地として四季折々の素晴らしい景色を生み出しています。

～要配慮者に対する取組み～

- 毎年実施されている防災訓練では、車椅子を使用しての自宅から避難場所への移動など、避難困難者の避難訓練も実施しています。
- 防災行政無線が聞き取りにくいお宅には、戸別受信機の貸出しや防災行政無線テレホンサービス(通話料無料)を実施しています。
- 避難所開設時、一般避難所での生活が困難な方には、福祉避難所も開設しています。避難所には、大小のテント、ベッドなどを用意し、プライベート空間の確保などに努めています。
- 福祉避難所では、障害のあるなしに関わらず、適切な健康管理ができるよう、保健師も対応しています。



清川村

災害時協力井戸

(飲料水ではありませんので、ご注意ください)

村内の井戸をお持ちの方に、災害時の生活用水を提供する、災害時協力井戸の登録をお願いしています。令和6年9月現在で55箇所を登録しています。協力をいただいている井戸のあるお宅には、「災害時協力井戸」の看板を掲示しています。

(飲料水ではありません)



災害伝言ダイヤルを活用した安否確認訓練



LPGガスを使った炊き出し訓練

広報誌「きよかわ通信」R6年8月号より

高齢者・障害者・介護給付決定者・独居者については、複数の保健師が日頃から巡回相談を行っており、避難が必要と予想される場合には、前日に電話をかけて様子を聞く等の対応ができるなど、小さい村ならではの強みとなっています。

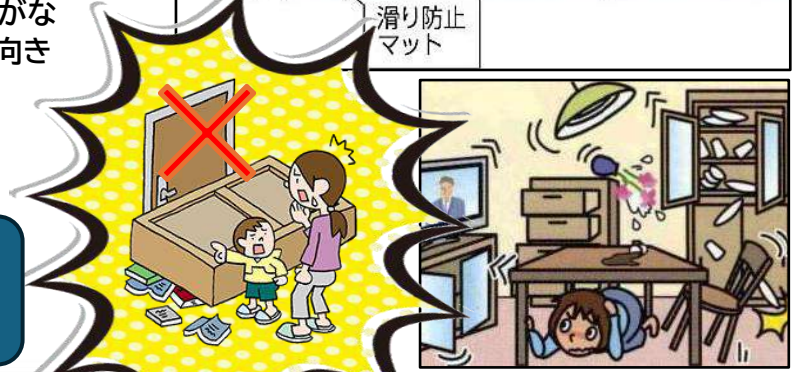
自助力UP!

家の中の安全がとても重要!!

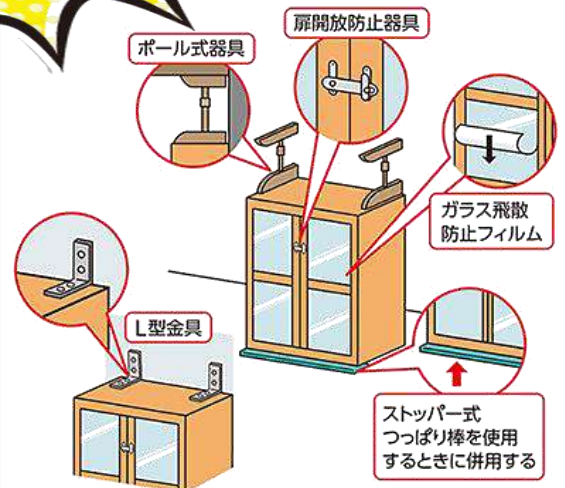
- **寝室は、一番安全であるように!**
寝床が家具の下敷きにならない配置か、寝ていて物が落ちてこないかを確認! 履物も用意するといいです。
- 窓ガラスには飛散防止フィルムを貼ったり、カーテンを閉めることで**窓ガラスの飛散を防ぎます。**
- 食器棚の扉や引き出しには、ストッパーをつけ、飛び出しを防ぎましょう。サイズの違うお皿を重ねる場合は滑り止めシートを挟むと飛び出し防止に。
- **避難経路の確保!** 玄関先や通路を物でふさがないように。家具は倒れてドアをふさがれない向きに配置。自宅はもちろん、日中活動の場や職場も同様の安全確認をしましょう!
- 住まいの耐震化も要確認!



地震災害の怪我は半数が家具・家電の転倒が原因です! 阪神淡路大震災では、犠牲者のおよそ8割が家具による圧死でした!



津波や浸水、火災や建物の倒壊の怖れがなければ、自宅避難をします。避難所の密集を防ぐことにもなりますし、トイレや着替えなど、プライバシーの面でもストレスなく過ごせます。



避難で家を離れる場合

- **緊急持ち出しセットは玄関など、すぐに持ち出せる場所に!** 中身も用途別に分け、ビニール袋に入れておくと、雨でも濡れないし、ビニール袋はごみ入れ等に重宝します。車のあるお宅は車にも用意を!
- 玄関には家族の安否や避難先などのメモを残しましょう。
- 必ず**ブレーカーを落としガスの元栓も閉める。(通電の際の出火防止とガス漏れ出火防止)**
- 断水したら水道の元栓を閉める。(泥や濁った水の家の水道管への混入防止)
閉める時は時計回り。トイレや給湯器、洗濯機の止水栓も閉めておきましょう。水が出るようになっても、**排水管の確認ができるまでは水を流さないように!**
- 必要なら、水のうを作って、トイレ・洗濯機排水口・風呂排水口や洗面台やキッチンのシンクなど **汚水逆流防止対策を。** ビニール袋45ℓを2重にし、半分くらいの水を入れて縛り、水のうを作ってふさぎます。(重さ20kg以上になるように) 逆流の前兆は、便器からポコポコと音が聞こえたり、中の水がはねたり、悪臭がします。マンションなどの下層階は特に注意です。



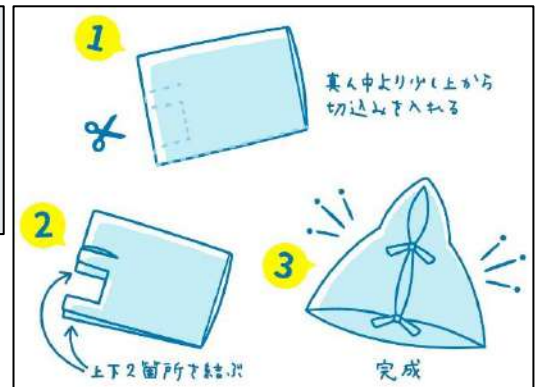
自助力UP!

何を備蓄し、どう乗り切る？



- 食料品は無理のないローリングストックを。古いものから消費しながら補充する形で、水と食料は7日分が望ましく、**できれば食べ慣れたものを。**
- 水で洗えない時、食器にラップを巻く。紙コップや紙皿、割りばし。
- **モバイルバッテリーはいつもフル充電しておく**と安心。
- 寒さ対策: 使い捨てカイロや軍手・手袋も必須。毛布があればいいが、アルミシートなどでも保温できる。
- 暑さ対策: 冷却ジェルシート・せんす・保冷タオル(体育館は夏も床が冷えるので、靴下など足元の保温)
- 長期化した場合、安全な場所での調理やお湯沸かしに、カセットコンロとガスボンベもあると良い。

- **大き目のビニール袋はなにかと便利!**
首と両手の穴をあけて被れば防寒に。切り方次第で雨合羽、レジ袋のサイドを開いて三角巾代わり。衣類を入れてクッション代わり。ゴミ袋としても必須。



- マスクや救急セット、除菌シート、歯ブラシ、サプリメントなど。
- **簡易トイレは多めに! 大人用紙パンツやペットシート・介護用の使い捨て給水シートもおねしょやおもらし対策に便利です。**
- 女性は生理用品も。下着が変えられない時に、尿取りパッド・おりものシートも便利。
- お薬手帳も大事ですが、**服薬のある方は1週間分くらいは余分にあるよう**、お医者様に相談を。
- 外出先で被災した場合は、安全な場所に避難し交通機関などの情報収集に努め、むやみに移動しない。
- 家族がバラバラの場合に備え、避難所の具体的な集合場所と時間を決めておく
- 「〇〇学校の校庭のジャングルジムのところ」などで10:00か16:00」など、時間も決めておけば待ち疲れや不安の軽減に。
- いつもの外出のカバンにも、ちょっとした食料など、**携帯可能な防災セットを入れておく習慣を!**
(100均の透明ボトルや透明ポーチに独自の防災キットを作るのもお勧め!)
- **障害のある本人用の持ち出しリュックには「その人ならではの安心グッズ」をプラス!**
対応の仕方や家族連絡先など支援情報メモも携帯させたいが、他者へ言葉で助けを求められない人もいるため、何をどう持たせるかが重要!

➡ **県育成会では、更に検討を進め重要な自助グッズを考えていきます。**



- 水入りペットボトルに充てると懐中電灯の光が拡大し、ランタンようになります。**ロウソクでの灯りは火災の恐れがあるので避けましょう。** また、ペットボトルの水は膨張分を少し減らして冷凍しておく
- **避難訓練には積極的に参加**しましょう。可能なら、本人に簡易トイレの体験をさせておきたいです。

神奈川県歯科医師会の
鎌田有一朗先生(鎌倉市)に
『災害時の口腔ケア』
について教えて
いただきました。
要チェックです！



緊急避難袋に準備しておくもの！

- 使い捨て歯ブラシ
- デンタルフロス
- デンタルリンス(マウスウォッシュ)
- 口腔ケアティッシュ
- 歯間ブラシ
- 入れ歯洗浄剤、入れ歯ケース



口腔ケア
ティッシュ

口腔ケアに対し特に何に気を付ければよい？

- ★不安やストレスが強いと、口腔ケアを拒否したり、自己管理が難しくなることがあります。安心感を与えるため、親しい家族や支援者がケアを行うのが望ましいです。
- ★できる限り普段と同じ環境で行えるように、**絵カードやコミュニケーションツール**を用意しておく。

物資や水が限られている中でできる口腔ケアって？

歯磨き

- ★歯磨き剤を用いずに歯ブラシのみで磨きましょう。
- ★歯ブラシがない場合は、**ガーゼ、ケアティッシュ等**を指に巻き付けて、汚れを拭うようによう。
- ★歯と歯の間はフロスや歯間ブラシを使いましょう。



うがい

- ★1回量は**20~30ml(大さじ2杯分)**で間に合います。1回で行うよりは2回に分けて行いましょう。
- ★**デンタルリンス(マウスウォッシュ)**を使用しましょう。
- ★食後のお茶を代用してうがいをしましょう。
- ★まず「ぶくぶくうがい」、次に「がらがらうがい」をしましょう。



入れ歯

- ★洗浄が困難な場合は、口腔ケアティッシュやきれいなガーゼなどで拭き取りましょう。

その他

- ★よく噛んで食べて、唾液をたくさん出し、自浄作用を高めましょう！
- ★**キシリトールガムを噛んだり唾液腺マッサージ**をして唾液を増やすことも有効です。

唾液腺



起こりやすい口腔内のトラブルは？

- ★ストレスが増えると口渇、舌痛症が起き、栄養バランスの偏りにより口内炎が起こりやすくなります。
- ★歯ぎしりや、食いしばりが増加して顎の痛みも出やすくなります。
- ★口腔内衛生状態の悪化により、虫歯や歯周病の進行も起こりやすいので、**日々の歯磨きが大事！**



もしもの時、親や支援者が気を付けるべきことは？

コミュニケーション

- ★言葉で表現できない場合は、表情や行動から歯の不快感を察知してあげましょう。例えば、**顔をしかめる、食事を拒否する、口元を頻りに触る**などがサインかもしれません。

医療機関との連携

- ★緊急時に相談できる歯科医院や専門機関の連絡先を把握しておきましょう。



FMラジオ局	MHz	受信可能エリア
マリンエフエム	77.1	横浜市(中区)・西区・南区・磯子区の一部
FMやまと	77.7	大和市・綾瀬市・座間市・海老名市・厚木市
FM湘南ナパサ	78.3	平塚市・茅ヶ崎市・大磯町・伊勢原市・寒川町
FM・ブルー湘南	78.5	横須賀市・横浜市南部(中区、磯子区、金沢区)・逗子市・葉山町・三浦市の一部
湘南ビーチFM	78.9	逗子市・葉山町を中心に・相模湾沿い(横浜・川崎・秦野)
かわさきFM	79.1	川崎市(中原区)
鎌倉エフエム	82.8	鎌倉市を中心に・藤沢・茅ヶ崎・逗子・葉山・横浜・厚木・伊勢原・寒川・小田原・伊東市の一部
レディオ湘南	83.1	藤沢市を中心に・茅ヶ崎・寒川・平塚・海老名・綾瀬・大和
むらラジやまラジ836	83.6	清川村
エフエム戸塚	83.7	横浜市(戸塚区)・港南区の一部
FMHOT839(さがみ)	83.9	相模原市(中央区)・愛川・座間・海老名・大和・綾瀬・寒川・(厚木・伊勢原・藤沢・平塚・茅ヶ崎の一部)
FMサルス	84.1	横浜市(青葉区)
FMカオン	84.2	県央地域(海老名市・座間市・厚木市)
FMヨコハマ	84.7	神奈川県全域
金沢シーサイドFM	85.5	横浜市(金沢区)・磯子区・横須賀市追浜町
FM湘南マジックウェイブ	85.6	大磯町・二宮町・中井町
FMおだわら	87.9	小田原市・南足柄市・箱根町・開成町・大井町・松田町・二宮町の一部
EBOSHI RADIO STATION	89.2	茅ヶ崎市・寒川町の一部

災害時は
情報が
とても
重要です



防災情報はネットで入手しやすくなりましたが、まわりにはデジタルに弱い方たちがいらっしゃいます。有益な情報はお伝えしたり、アプリ登録の際など、サポートをお願いします！



災害用伝言ダイヤル171

音声ガイダンスの指示に従ってご利用ください。



*毎月1日と15日に体験利用ができます。

防災に関するサイトもチェックしておきましょう！

移動に時間のかかる高齢者や障害者は、一足早めの避難行動が重要です！

セイフティーネット プロジェクト横浜



コミュニケーションボードのダウンロードやオリジナルで作成ができます

神奈川県災害情報ポータル: <https://www.bousai.pref.kanagawa.jp/>
気象庁「キキクル」(土砂・洪水・河川の氾濫など)サイト: 「キキクル」

ハザードマップポータルサイト(災害と地域を選択 地図に色でリスク表示): <https://disaportal.gsi.go.jp/>

NHK防災 日本の災害リスク・備え・対策の総合サイト: <https://www.nhk.or.jp/bousai/>

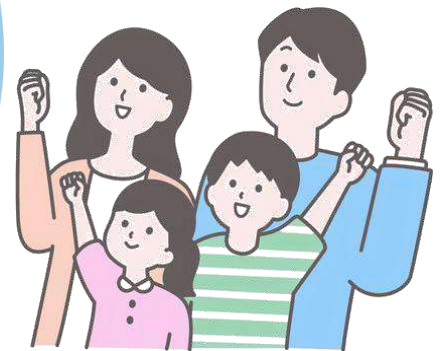
NHK 災害時障害者のためのサイト: <https://www.nhk.or.jp/bousai/shougaisha/>

索引

作成にあたり & 県の情報	…P 2	大和市	…P14	箱根町	…P27
横浜市	…P 3	海老名市	…P15	真鶴町	…P28
川崎市	…P 4	座間市	…P16	湯河原町	…P29
横須賀市	…P 5	綾瀬市	…P17	松田町	…P30
鎌倉市	…P 6	相模原市	…P18	開成町	…P31
逗子市	…P 7	藤沢市	…P19	山北町	…P32
三浦市	…P 8	茅ヶ崎市	…P20	大井町	…P33
葉山町	…P 9	寒川町	…P21	中井町	…P34
厚木市	…P10	平塚市	…P22	清川村	…P35
秦野市	…P11	大磯町	…P23	家の中の安全	…P36
伊勢原市	…P12	二宮町	…P24	備蓄や工夫	…P37
愛川町	…P13	小田原市	…P25	災害時の口腔ケア	…P38
		南足柄市	…P26	FM・防災サイト	…P39

作成にあたり、ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

まずはお住まいの地域の特色を知りましょう。良く出かける地域のことも気にかけておきましょう。
そして、今できる備えをしましょう。
知的障害のある本人が、災害がおきても落ち着いて過ごせるよう、準備できる事から始めましょう。
冷静な状況判断で、その時点での最善の行動をとれるようになりたいです。
大切な命を守りましょう！



この冊子は神奈川県手をつなぐ育成会ホームページからどなたでもダウンロードができます。

この冊子は、共同募金配分金により発行しています。

2025年2月発行（ダウンロードフリー）



神奈川県手をつなぐ育成会

〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2 神奈川県社会福祉センター内

TEL: 045-323-1106 FAX: 045-324-0426 MAIL: ijkanagawa_k@yahoo.co.jp

